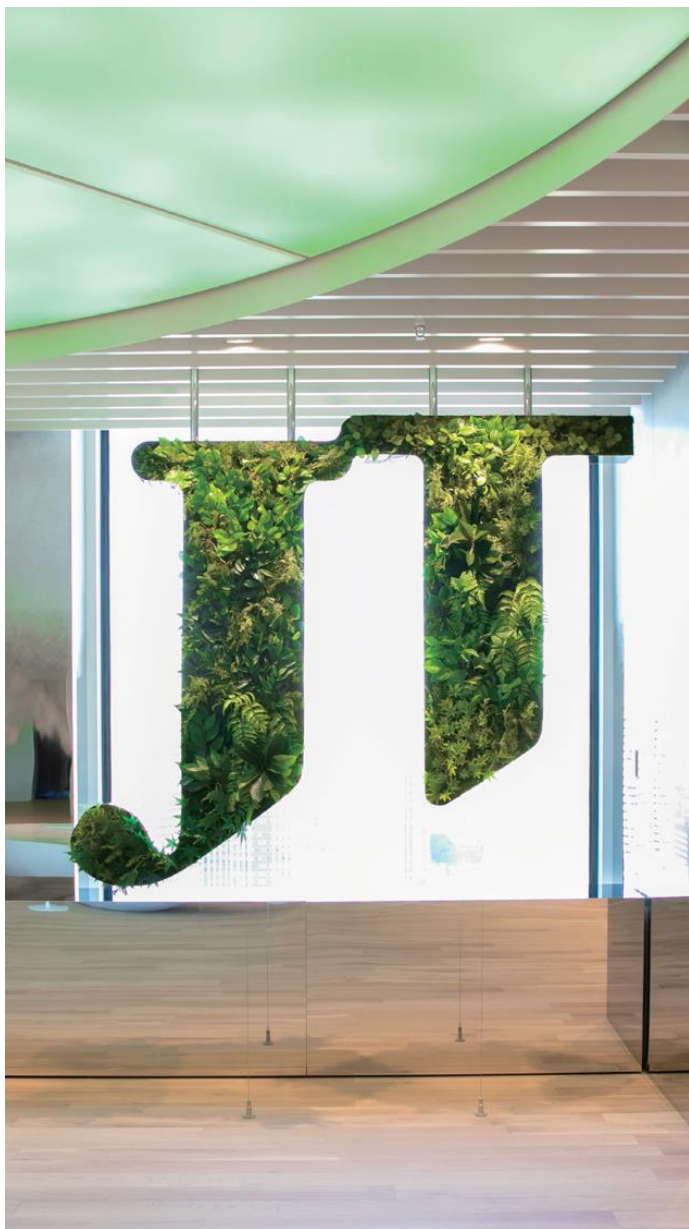




個人投資家の皆様へ

オンライン会社説明会

2025年6月

日本たばこ産業株式会社(証券コード:2914)

代表取締役副社長

財務・Corporate Communications・

ビジネスディベロップメント・D-LAB担当

中野 恵

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

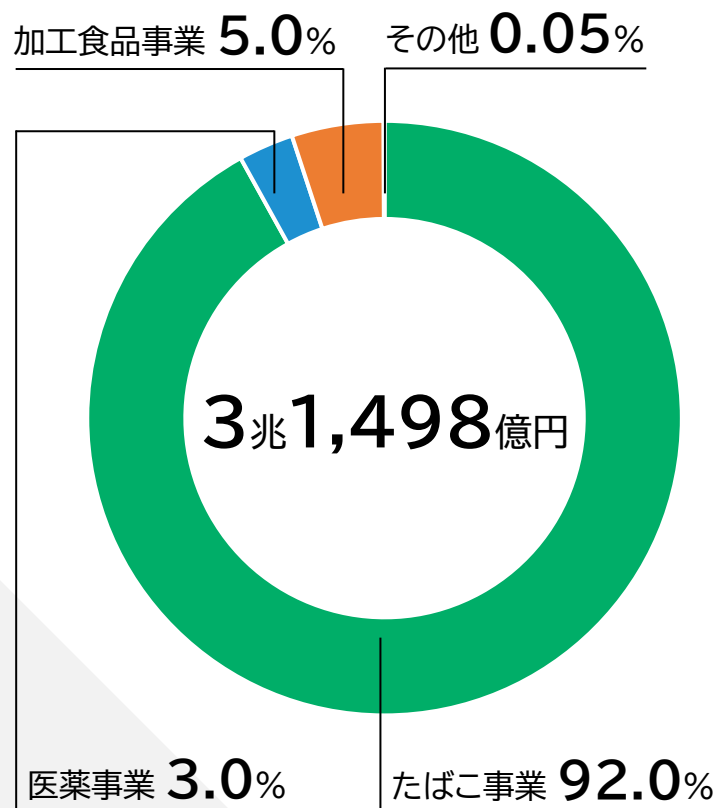
- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、
国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、
喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

- 01 JTグループの概要
- 02 経営理念・JT Group Purpose
- 03 事業の概要
- 04 D-LAB
- 05 経営計画・2025年度 第1四半期決算
- 06 株主還元方針
- 07 Q&A Session

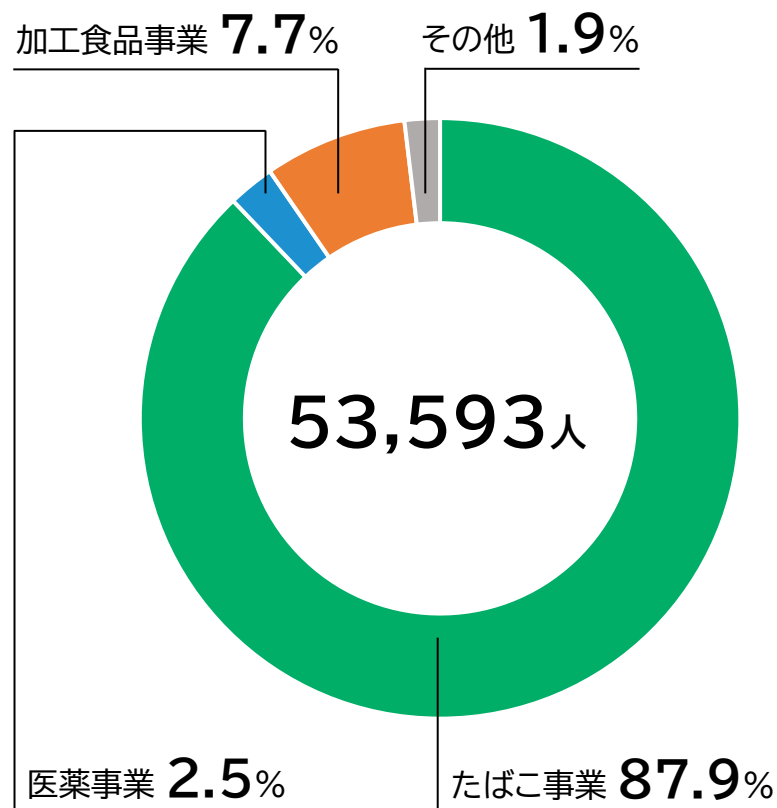
JTグループの概要

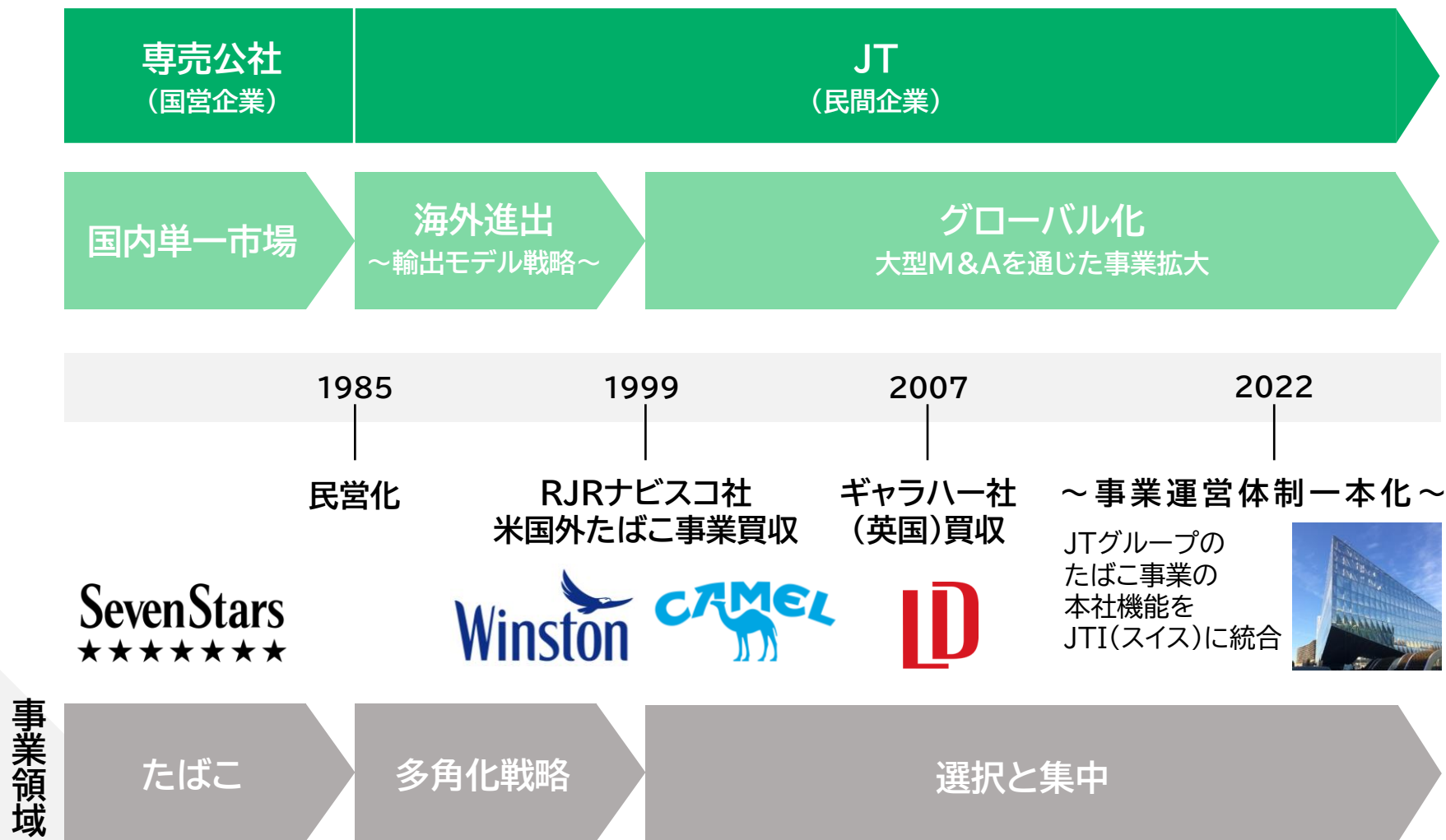
JTグループは、たばこ事業を中心に、130以上の国と地域で事業を展開

売上収益構成比(2024年12月末現在)



従業員数構成比(2024年12月末現在)

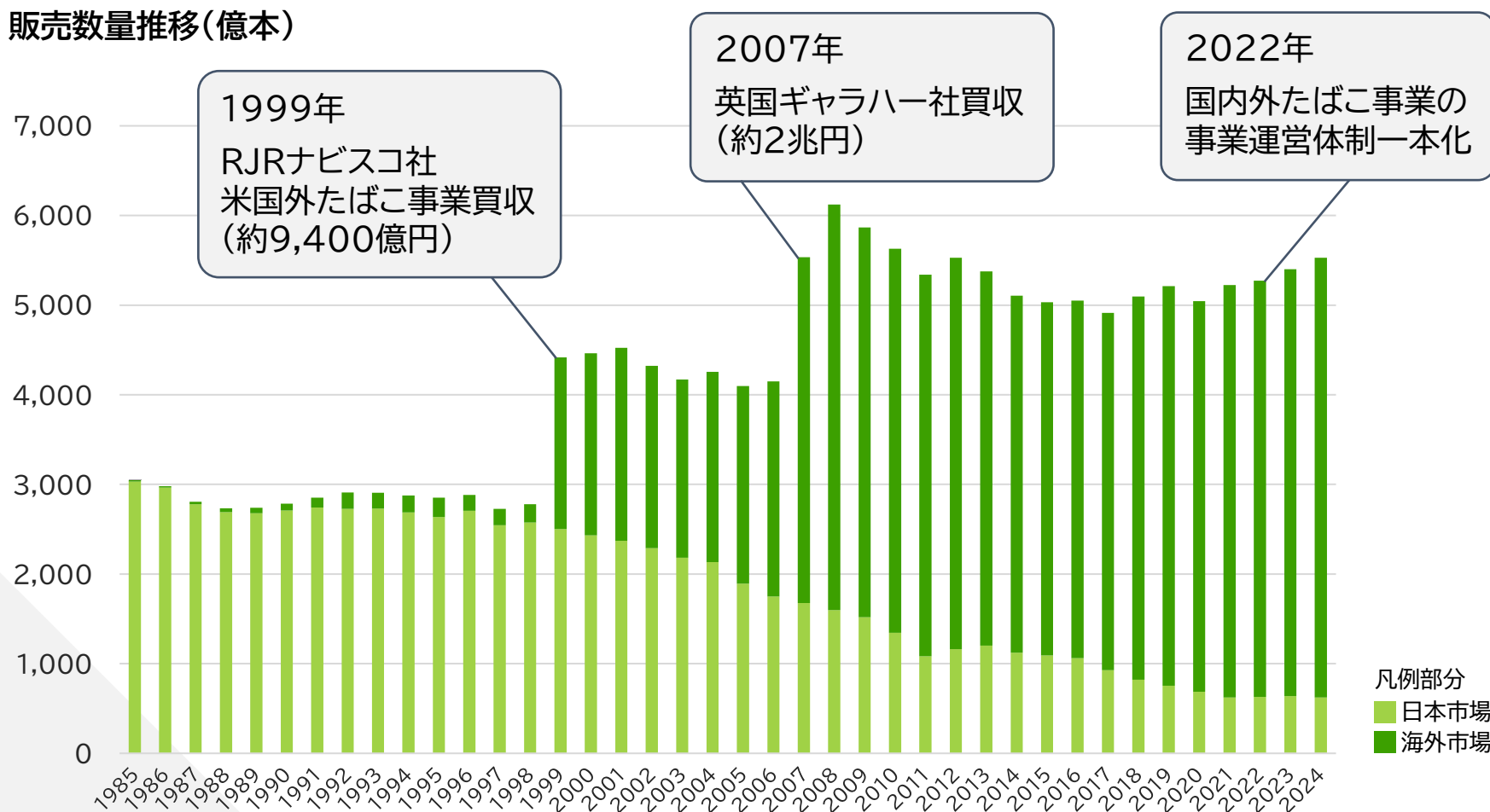




※本スライドは、JTグループの事業活動を説明するためのものであり、当社グループの製品について、消費者への販売促進もしくは使用を促す目的のものではありません

大型買収を通じたグローバル化

販売数量推移(億本)

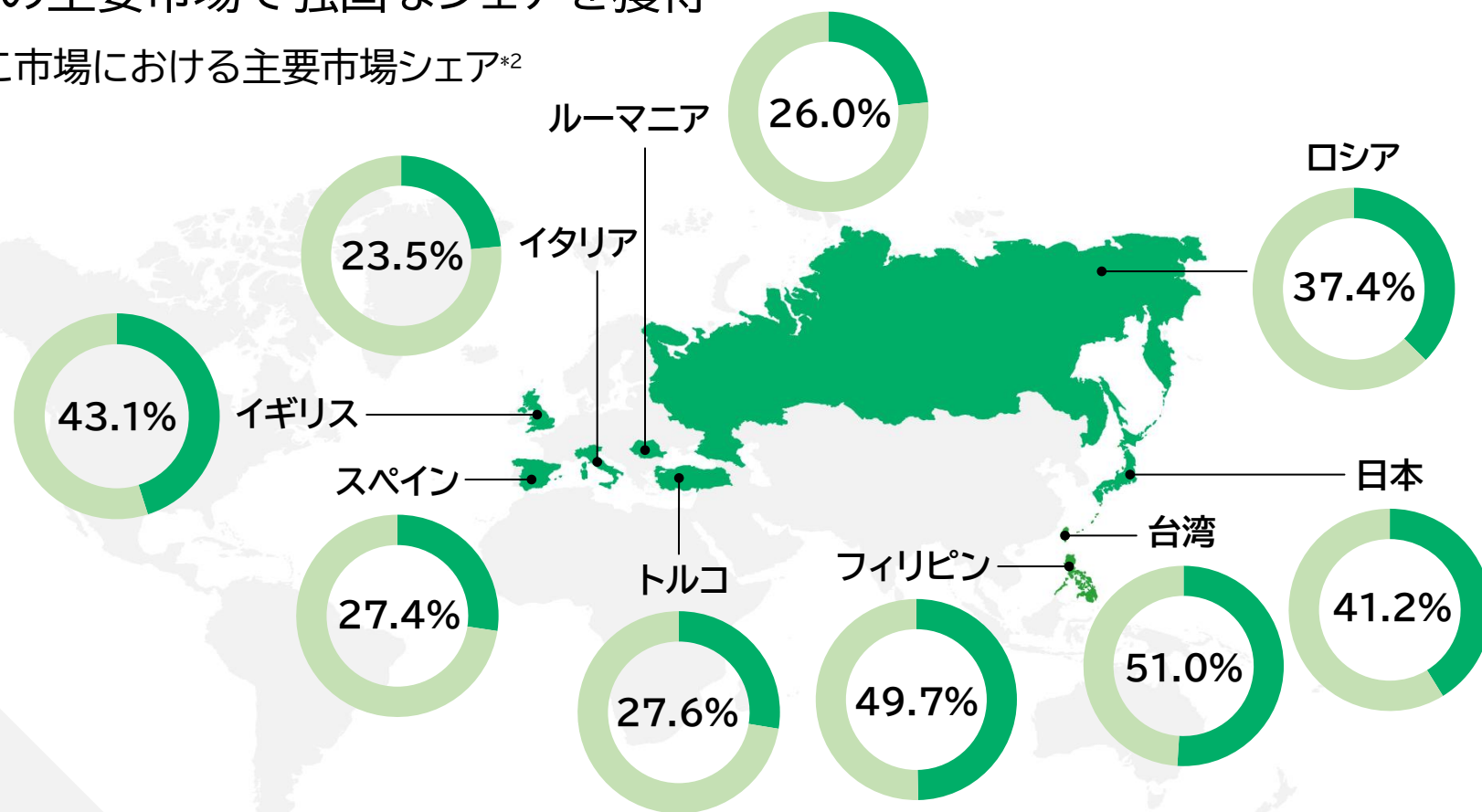


出典:JT調べ

たばこ総販売数量で世界第3位*1

世界の主要市場で強固なシェアを獲得

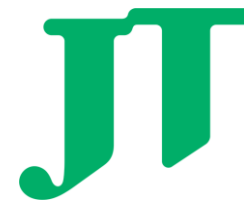
たばこ市場における主要市場シェア*2



*1 2024年度実績。China National Tobacco Corp.(中国専売公社)を除く

*2 シェアは、Combustibles及びHTP(heated tobacco products)のたばこ総需要に基づいて算出

02

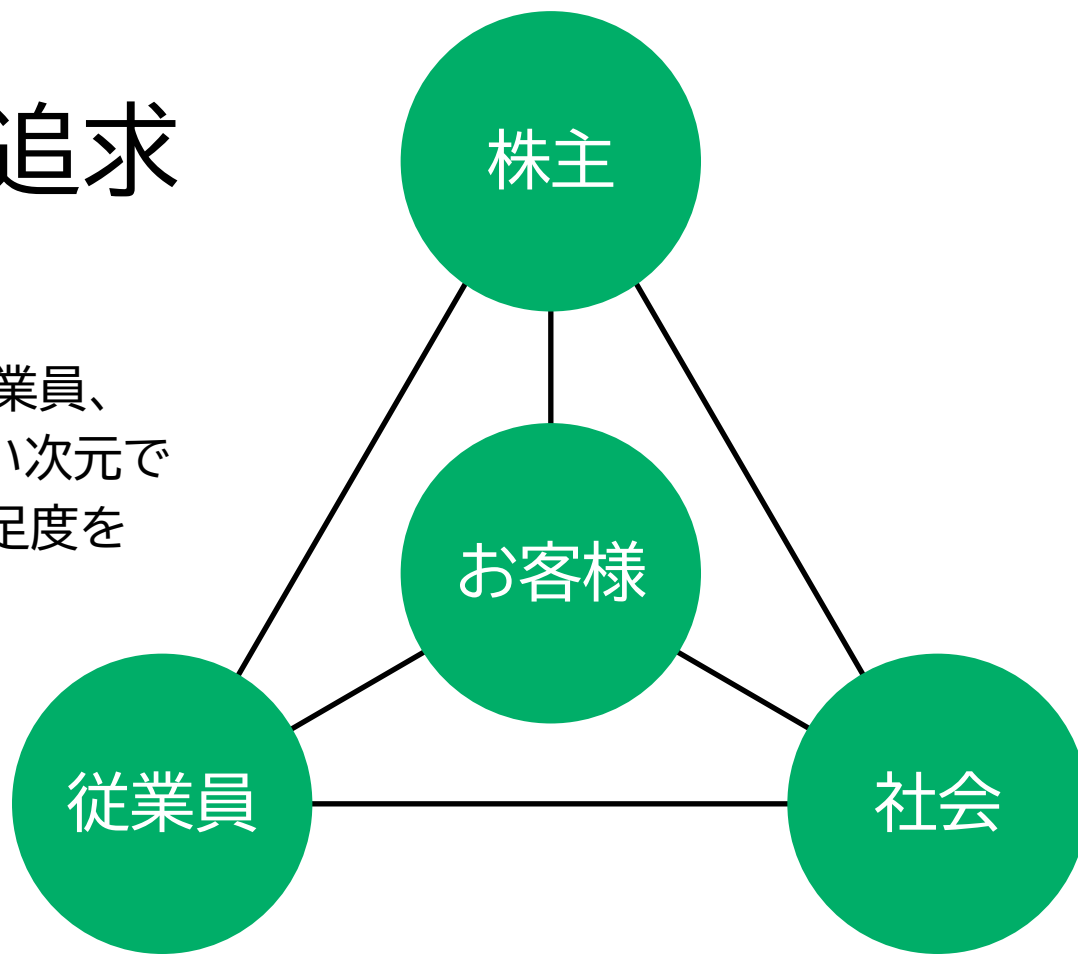


経営理念・JT Group Purpose

「4Sモデル」の追求

企業理念

お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4者の満足度を高めていく



心の豊かさを、
もっと。

●JTグループアイデンティティ(大切にしてきた価値) ●アクション

●日本たばこ産業
株式会社設立

ミッション「心の豊かさ
を創造するマーケティングカンパニー」

たばこ事業は、人間の微妙な感覚と心理の深層に対する多面で多様な働きかけを、短い一服の瞬間にこめて生活の緊張をほぐし、その内容に豊かなよろこびをおくるユニークな産業である

●経営理念として
「4Sモデルの追求」を設定

●JT経営ビジョン96

delightコンセプト
「多様なであいの接点に生まれる発見、驚き、喜びの瞬間である」を策定

●JTブランディング宣言

「かけがえのないディライト(ステーキホルダーの期待以上の価値、期待を超える喜び)を提供するブランディングカンパニー」

●JT-11公表

・長期ビジョン:「JTグループならではの多様な価値をお客様に提供するグローバル成長企業」
・JTグループミッション
・JTグループWAY

●高温型加熱式たばこ
「Ploom X」を発売



●「MILD SEVEN」ブランドを
「MEVIUS」へ変更



JT Group Purpose
策定
「心の豊かさを、
もっと。」

1968

1985

1995

1996

1999

2002

2007

2008

2013

2016

2021

2022

2023

2024

2025

●株式公開・上場

●RJRナビスコ社(米国)から
米国外たばこ事業を買収



●ギャラハー社
(英国)買収



●(株)加ト吉(現テーブル
マーク(株))及び富士食
品工業(株)の発行済株
式のそれぞれ過半数を
取得



●たばこ事業運営体制
一本化

●「Natural American
Spirit」の米国外たばこ
事業を取得
●低温型加熱式たばこ
「Ploom TECH」を発売

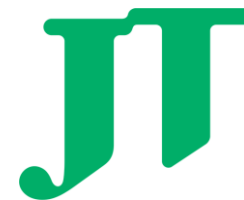
●BEYOND FREEの
オンライン販売を開始
BEYOND FREE

●ギネス世界記録®認定

・正式タイトル名:最大の
冷凍麺ブランド(最新年
間売上)
・認定対象年:2024年

※本スライドは、JTグループの事業活動を説明するためのものであり、当社グループの製品について、消費者への販売促進もしくは使用を促す目的のものではありません

03



事業の概要

たばこ製品の広がり

Combustibles

(燃焼性の
たばこ製品)

紙巻たばこ
(シガレット)



葉巻
(シガー)



その他パイ
プ、煙管など



RRP

(喫煙に伴う健康リ
スクを低減させる
可能性のある製品)

HTS*1
(Heated Tobacco
Sticks)



インフューズド*2



その他電子たばこ
(E-vapor)、
無煙たばこなど



*1 高温加熱型の加熱式たばこ製品

*2 液体を加熱することで発生させた蒸気をたばこカプセルに通過させ、たばこ蒸気を愉しむ製品

たばこ製品の広がり

Combustibles

(燃焼性の
たばこ製品)

紙巻たばこ
(シガレット)



葉巻
(シガー)



その他パイプ、
煙管など



RRP

(喫煙に伴う健康リ
スクを低減させる
可能性のある製品)

HTS*1
(Heated Tobacco
Sticks)



インフューズド*2



その他電子たばこ
(E-vapor)、
無煙たばこなど



*1 高温加熱型の加熱式たばこ製品

*2 液体を加熱することで発生させた蒸気をたばこカプセルに通過させ、たばこ蒸気を愉しむ製品

持続的な収益性の改善

- ✓ 価格戦略及びシェア伸張を通じた売上収益の成長
- ✓ コスト最適化への取組みを継続
- ✓ 収益性及び利益率の改善を追求



※本スライドは、JTグループの事業活動を説明するためのものであり、当社グループの製品について、消費者への販売促進もしくは使用を促す目的のものではありません

たばこ製品の広がり

Combustibles

(燃焼性の
たばこ製品)

紙巻たばこ
(シガレット)



葉巻
(シガー)



その他パイ
プ、煙管など



RRP

(喫煙に伴う健康リ
スクを低減させる
可能性のある製品)

HTS*1
(Heated Tobacco
Sticks)



インフューズド*2



その他電子たばこ
(E-vapor)、
無煙たばこなど



*1 高温加熱型の加熱式たばこ製品

*2 液体を加熱することで発生させた蒸気をたばこカプセルに通過させ、たばこ蒸気を愉しむ製品

HTSへの投資を最優先

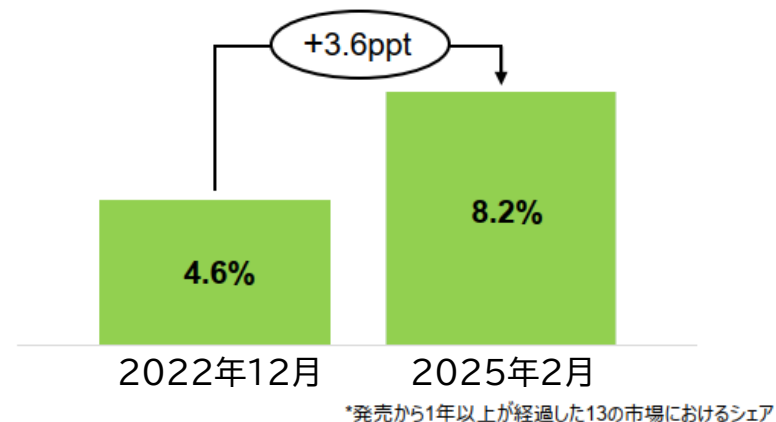
- ✓ RRPを将来の利益基盤とすべく、引き続きHTSへ集中投資
- ✓ 将来の利益成長の機会を見据え、他カテゴリーの可能性を引き続き探索



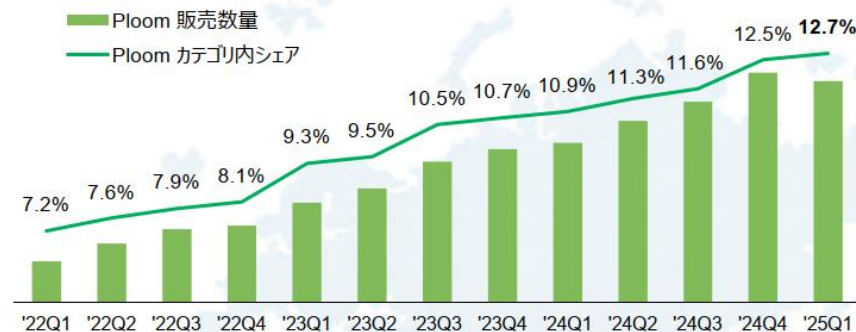
※本スライドは、JTグループの事業活動を説明するためのものであり、当社グループの製品について、消費者への販売促進もしくは使用を促す目的のものではありません

- ✓ PloomのHTSカテゴリ内シェアは各市場で引き続き伸張
- ✓ RRP中期展望*である2028年末までの10%台半ばのカテゴリ内シェア獲得に向けて順調に進捗
- ✓ 「新型Ploom」の投入により、一層のシェア拡大を目指す

Ploom カテゴリ内シェア(グローバル)*



Ploom 販売数量・カテゴリ内シェア(日本)



*2028年末までに日本・イタリアを含むkey HTS marketsにおけるHTSカテゴリ内シェア10%台半ば、2028年末までにRRPビジネスの黒字化

新型デバイス・新スティックブランド 日本市場で先行販売



※本スライドは、JTグループの事業活動を説明するためのものであり、当社グループの製品について、消費者への販売促進もしくは使用を促す目的のものではありません

国内の利益成長と海外展開の加速

- ✓ 主力商品の価値向上による国内収益基盤の強化と利益成長
- ✓ 事業機会が増大する海外市場への展開加速
- ✓ 将来の食の課題対応によるJTG加工食品事業パーパスの実現



富士食品工業株式会社



※「テーブルマークの冷凍麺」ギネス世界記録®認定 概略

記録名:最大の冷凍麺ブランド(最新年間売上)、正式英語記録名:Largest frozen noodle brand-current

対象商品:冷凍麺(パスタ除く)、認定根拠:第三者によるグローバル調査データに基づく、対象期間:2024年1~12月

塩野義製薬株式会社への当社医薬事業の承継 及び鳥居薬品株式会社の株式譲渡

2025年5月7日
塩野義製薬との間で合意書締結

- ✓ 2025年度第3四半期より、
医薬事業は非継続事業に分類予定
- ✓ 本件による、2025年12月期
配当予想(194円)は変更なし



SHIONOGI



04



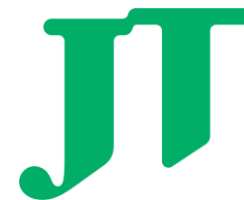
D-LAB

JT Group Purpose 実現に向けた コーポレートR&D組織

- ✓ “心の豊かさ”を中心概念とした研究
や未来の事業シーズの探索・創出
- ✓ 香りや食等の五感に訴えるものや
呼吸等のウェルネスに関係するもの
など、多岐に亘る領域が活動対象



05



経営計画・2025年度 第1四半期決算

全社為替一定ベースの調整後営業利益の成長実現に注力

- ✓ 中長期:年平均一桁台半ばから後半の成長
- ✓ 2025-2027年:年平均一桁台後半の成長

JT Groupの利益成長の
中核かつ牽引役

たばこ事業

Creating fulfilling moments,
Creating a better future.

JT Groupの
利益成長を補完

医薬事業

科学、技術、人財を大切にし、
患者様の健康に貢献します。

加工食品事業

食事をうれしく、食卓をたのしく。

為替一定ベース

Core revenue

8,073億円

前年同期比
+13.3%

調整後営業利益

2,738億円

前年同期比
+20.8%

財務報告ベース

売上収益
8,270億円

前年同期比
+11.7%

調整後営業利益
2,666億円

前年同期比
+17.6%

四半期利益
1,575億円

前年同期比
+0.1%

詳細は、2025年度 第1四半期 決算発表をご参照ください
URL <https://www.jti.co.jp/investors/library/presentation>



為替一定ベース

Core revenue

3兆2,320億円

前年同期比
+6.6%

調整後営業利益

8,150億円

前年同期比
+8.4%

財務報告ベース

売上収益

3兆2,730億円

前年比
+3.9%

調整後営業利益

7,350億円

前年比
-2.2%

当期利益

4,500億円

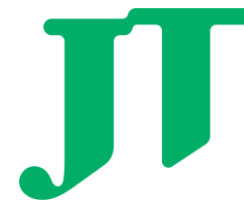
前年比
+151.1%

詳細は、2024年度 決算発表をご参照ください

URL <https://www.jti.co.jp/investors/library/presentation>



06



株主還元方針

経営資源配分方針

- ✓「中長期に亘る持続的な利益成長に繋がる事業投資を最優先」
- ✓「事業投資による利益成長と株主還元のバランスを重視」

株主還元方針

強固な財務基盤*1を維持しつつ、中長期の利益成長を実現することにより株主還元の向上を目指す

資本市場における競争力ある水準*2として配当性向75%を目安*3とする

自己株式の取得は、当該年度における財務状況及び中期的な資金需要等を踏まえて実施の是非を検討

*1 経済危機等に備えた堅牢性、及び機動的な事業投資等への柔軟性を担保

*2 ステークホルダーモデルを掲げ、高い事業成長を実現しているグローバルFMCG(Fast Moving Consumer Goods)企業群の還元動向をモニタリング

*3 ±5%程度の範囲内で判断

一株当たり

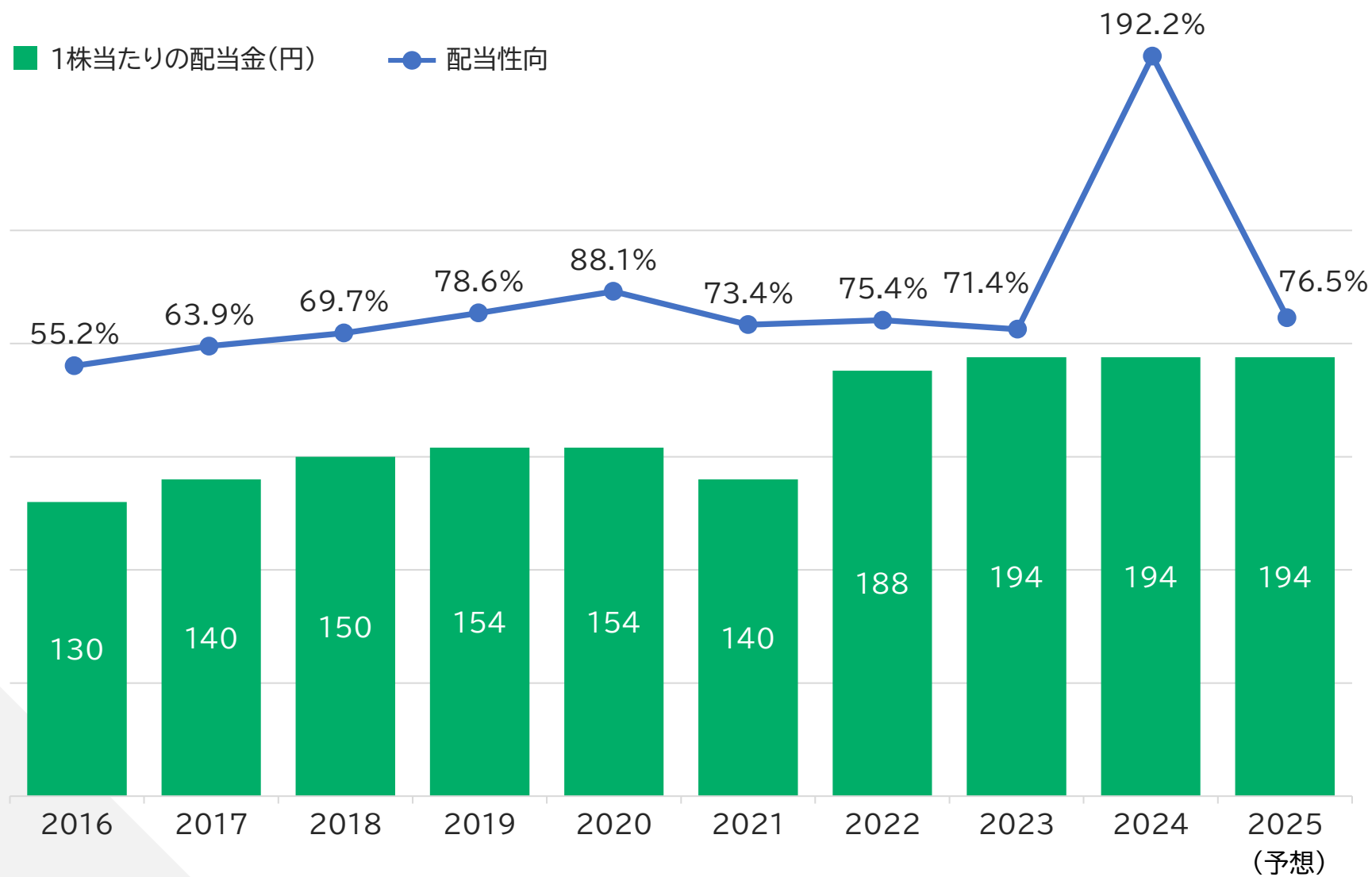
年間配当金は
194円(予想)

中間配当97円(予想)

期末配当97円(予想)

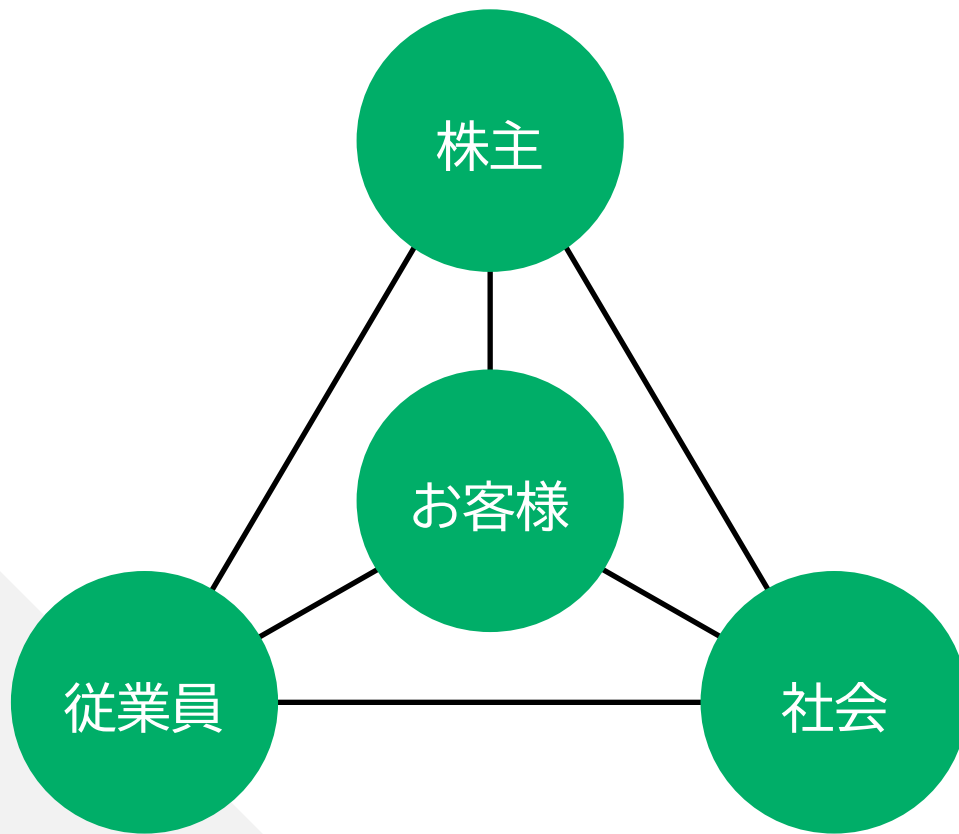


1株当配当金／配当性向推移



※2024年度は、たばこ事業におけるカナダ現地子会社の喫煙と健康に関する訴訟の原告等との和解に伴い、訴訟損失引当金3,756億円を一括して計上しており、当該影響を含めた連結配当性向となっております。なお、当該影響を除いた連結配当性向は74.3%となります

4Sモデル



JT Group Purpose

心の豊かさを、
もっと。

(参考)IRサイトのご紹介

当社ホームページにて、JTグループをより深くご理解いただくためのIR情報を発信しております。

JT IRサイト

URL <https://www.jti.co.jp/investors>



JT IRサイト 個人投資家の皆様へ

URL <https://www.jti.co.jp/investors/individual>



JT IRサイト 用語集

URL <https://www.jti.co.jp/investors/individual/glossary>



(参考) 統合報告書のご紹介

株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様に、JTグループの持続的な企業価値向上に向けた取組みについてより分かりやすくご理解いただくために、財務情報・非財務情報をあわせて掲載した統合報告書を発行しております。

最新版の統合報告書は、近日中にJT統合報告書ライブラリーにて公開予定です。



URL <https://www.jti.co.jp/investors/library/integratedreport>

07



Q&A Session

Q1.

株主還元

(配当方針・自己株式取得・株主優待)

経営資源配分方針

- ✓「中長期に亘る持続的な利益成長に繋がる事業投資を最優先」
- ✓「事業投資による利益成長と株主還元のバランスを重視」

株主還元方針

強固な財務基盤*1を維持しつつ、中長期の利益成長を実現することにより株主還元の向上を目指す

資本市場における競争力ある水準*2として配当性向75%を目安*3とする

自己株式の取得は、当該年度における財務状況及び中期的な資金需要等を踏まえて実施の是非を検討

*1 経済危機等に備えた堅牢性、及び機動的な事業投資等への柔軟性を担保

*2 ステークホルダーモデルを掲げ、高い事業成長を実現しているグローバルFMCG(Fast Moving Consumer Goods)企業群の還元動向をモニタリング

*3 $\pm 5\%$ 程度の範囲内で判断

Q2.

D-LABの取組み



Q3.

スポーツ振興・文化支援

男女バレーボールチーム
広島サンダース／
大阪マーヴェラス



バレーボールチーム

URL <https://www.jti.co.jp/sports>

将棋日本シリーズ
JTプロ公式戦／
テーブルマークこども大会

将棋日本シリーズ
JTプロ公式戦／こども大会



将棋日本シリーズ

URL <https://www.jti.co.jp/culture/shogi>

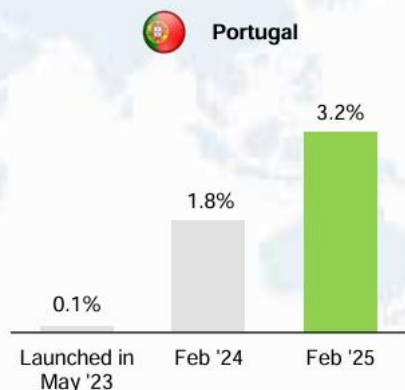
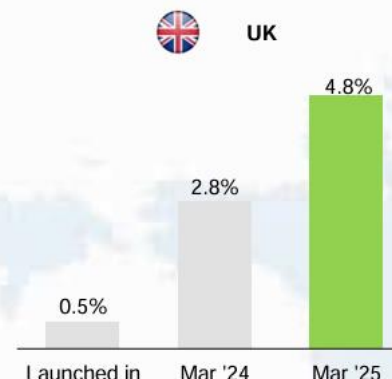
Q4.

人財獲得に向けた取組み

Q5.

Ploomの海外展開

PloomのHTSカテゴリ内シェア 1) 2)



1) 日本のシェアは四半期ベースのカテゴリ内シェア 2) Jordanのみローンチエリアにおけるカテゴリ内シェア。その他市場はナショナルベース

© Copyright JT 2025

Q6.

加工食品 おすすめ商品



2025年春夏 新商品



カトキチ極細うどん
3食



CoCo壱番屋監修
汁なしカレーうどん 大盛り



国産こしひかり 3食

BEYOND FREE



BEYOND FREE



BEYOND FREEの
ECサイトへはこちらから
アクセスいただけます。

詳細はテーブルマークのウェブサイトをご参照ください

URL <https://www.tablemark.co.jp>



Q7.

新デバイス「Ploom AURA」

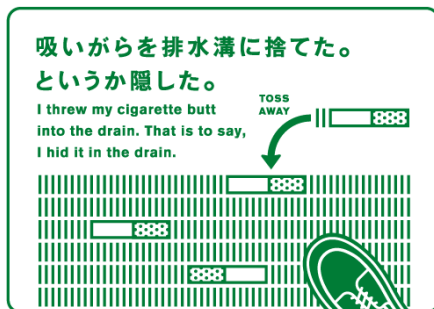
新型デバイス・新スティックブランド 日本市場で先行販売



※本スライドは、JTグループの事業活動を説明するためのものであり、当社グループの製品について、消費者への販売促進もしくは使用を促す目的のものではありません

Q8.

分煙・マナー向上への取組み



マナー向上のための啓発活動

- ・マナー広告展開
- ・ひろえば街が好きになる運動



築地川祝橋公園喫煙所



虎ノ門ヒルズ内喫煙所

たばこを吸われる方と 吸われない方、 双方に配慮した分煙の取組み

- ・分煙コンサルティング活動
- ・分煙環境整備

Q9.

たばこ市場の見通し

Q10.

社名変更について